



強い日本を作りたい

国益編

メタンハイドレート、レアアース、ガス田、熱水鉱床、日本近海は宝の山!

海洋資源開発を飛躍的に進め、日本を資源小国から大国へ。

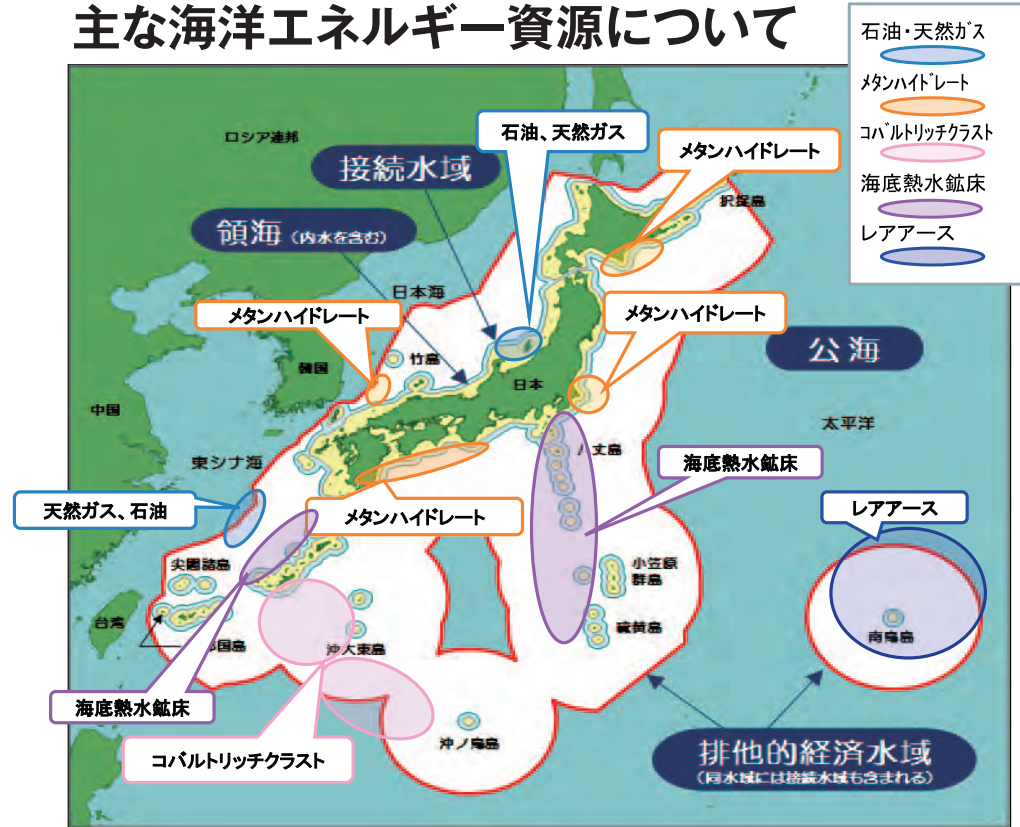
日本の未来を切り開く鍵は海にある。

日本は資源の乏しい国としてその大半を輸入に頼ってきました。原発を推進せざるを得なかった理由もそこにあります。そのためにときには中東に、ある時はアメリカに、そして中国にも遠慮しながら弱腰外交を余儀なくされています。しかし、日本近海の深い海底には豊富な資源が眠っています。その掘削技術の開発が進めば日本は資源大国となり国際社会の中でも堂々たる地位を築くことができます。

日本近海の海洋鉱物資源の内訳とその価値

| 資源名 | 賦存地域 | 埋蔵価値(推定) |
|-----------------------------|-----------------|--|
| ガス田(石油・天然ガス) | 東シナ海 | 30兆円(5.2億KL) (経産省推定) |
| ガス田(石油・天然ガス) | 佐渡沖 | 調査中 (中東中規模程度) |
| メタンハイドレート(天然ガス) | 南海トラフ、日本海、北海道周辺 | 120兆円 (日本産業協議会試算) |
| 海底熱水鉱床(銅、亜鉛、レアメタル) | 伊豆小笠原海域、沖縄トラフ | 80兆円 (日本産業協議会試算) |
| コバルトリッチクラスト(コバルト、プラチナ、ニッケル) | 父島、息の鳥島、種子島周辺 | 100兆円 (日本産業協議会試算) |
| マンガン団塊(マンガン、レアメタル) | 沖の鳥島、南鳥島周辺 | 国際鉱区に1.3億トン (経産省推定) |
| レアアース泥(重レアアース)(注) | 南鳥島周辺 | 680万トン(日本の消費量の220年分) (東大資源フロンティア試算) |

日本近海(EEZ内)の主な海洋エネルギー資源について



マンガン塊



メタンハイドレート



熱水鉱床

Point

レアアース泥

家電、医療、エネルギー、軍事、あらゆるハイテク技術に欠かせない物質がレアアースです。そのためにレアアースを安定的に確保できる国が次のリーダーになれると言われています。そして、利用価値の高い重分子レアアース産出の90%以上が中国に集中し、尖閣問題で中国からレアアースを止められて日本は真っ青になりました。しかし、最近日本の領土・南鳥島周辺に純度の高い重分子レアアースが大量に賦存していることが最近分かりました。5,000mの海底に泥とともに存在するこの宝を国を挙げて開発できると、逆に中国が真っ青になるのではないのでしょうか。



レアアース泥



資源開発のセミナー



レアアース泥発見者・東大加藤教授と何度も勉強会を開催



資源探査船「資源」に乗船し海底から採取した鉱物を実際に研究